

8月は道路ふれあい月間

平成27年度代表標語

いい出い、いい道からの贈り物

道路は、国民の日常生活 ちである。そこで国土交通や経済活動に欠くことので 省では、毎年8月を「道路ふれあい月間」として、道も身近な存在であるため、路を利用する国民の方々その重要性が見過ごされがに、道路とふれあい、道路

- 最優秀賞
- 【小学生の部】
- 「あいさつの 大きな声が ひびく道」
古賀美咲さん(佐賀県)
- 【中学生の部】
- 「もういいかい 指差し確認 まあだだよ」
荒川まなさん(佐賀県)
- 【一般の部】
- 「いい出い、いい道からの 贈り物」
友久健さん(神奈川県)

の役割や重要性を再認識していただくため、道路の愛護活動や道路の正しい利用の啓発等の活動を特に推進することとしている。

期間：8月1日～31日
主催：国土交通省
後援：内閣府、警察庁、総務省、文部科学省、厚生労働省、環境省
協賛：89団体（教育機関、ボランティア団体、報道機関等）

「道路ふれあい月間」における活動の一環として、昭和41年から、毎年一般か

- 優秀賞
- 【小学生の部】
- 「たくさんのおおあふれる 今日のみち」
伊藤さやさん(山形県)
- 「こみひろい きれいなみちに ーあいさつー」
田代優奈さん(長崎県)
- 【中学生の部】
- 「前を見て あなたの道は この先に」
森谷友理さん(山形県)
- 「通学路 元気をくれる 宝物」
熊田有紗さん(千葉県)
- 【一般の部】
- 「美しい 道はみんなの 顔、心」
熊谷幸平さん(岩手県)
- 「さらさらと ふれあいはずむ 朝の道」
會田誠一さん(神奈川県)

ら「道路ふれあい月間」推進標語を募集している。50回目を迎える本年は全国から、308作品の応募があり、三好礼子委員（エッセイスト、元国際ラリースト）、やすみりえ委員（川柳作家、文化庁審議会分科会委員）、吉岡耀子委員（交通・環境ジャーナリスト）による審査が行われ、「小学生の部」「中学生の部」「一般の部」の部門毎に最優秀賞1作品ずつと優秀賞2作品ずつの計9作品が選定された。選定された作品は、地方整備局や地方公共団体が、◇地域住民等と強調した道路清掃、植樹帯の整備、不法占用物件の是正

※詳細は国土交通省のホームページで。 http://www.mlit.go.jp/report/press/road01_hh_000517.html

活用したPR活動◇パネル展示会や建設機械試乗会の開催等の活動を実施する際のキャッチコピーとして使用する（ポスター、チラシ、横断幕、電光掲示板、タスキへの掲示等）。

【総合選評】

《三好委員》道は自然に生活に入ってくるものだと思えます。日本という美しい自然の中、何気に通っているだけでも心が動き、気が付いたら新しい自分を作り上げてくれます。今日は改めてそんな感じを受けました。またもや全作品を拝見させて頂きましたが、とても面白くて、笑ったり、じーんときたり、大忙し。こんな角度もあるんだなあと感心するものもたくさんあり

振

我が国で外国人旅行者が旅行する際、外国語対応が十分な水準でないゆえの課題が多いため、全国レベルで交通機関や観光地などを適切に案内する体制を充実させる必要がある。外国人観光案内所は、外国人旅行者に不自由を感じさせない観光案内やホスピタリティに富む対応が多数の日本の魅力を伝えることにつながり、訪問先の増加、リピーターの増加に寄与すると考えられることから、我が国の国際観光のフロント機能という重要な役割を担っているといえる。

今般、観光庁が定めた「外国人観光案内所の設置・運営のあり方指針」に基づき「道の駅」における訪日外国人旅行者の観光案内機能の向上を図るため、全国63の「道の駅」が外国人観光案内所の認定を受けた。しかしながら、全国で1,059にも拡大している「道の駅」の中にはまだまだ少数であり、体制内容もほとんどがカテゴリー1（地域の観光案内を提供、パート

「道の駅」を

インバウンド観光の拠点に

以外の2言語対応が可能）までにレベルアップすることが求められる。「道の駅」が地域の総合観光窓口としての機能を充実させることによるインバウンド観光効果は絶大である。例えば、外国人観光客がまず「道の駅」

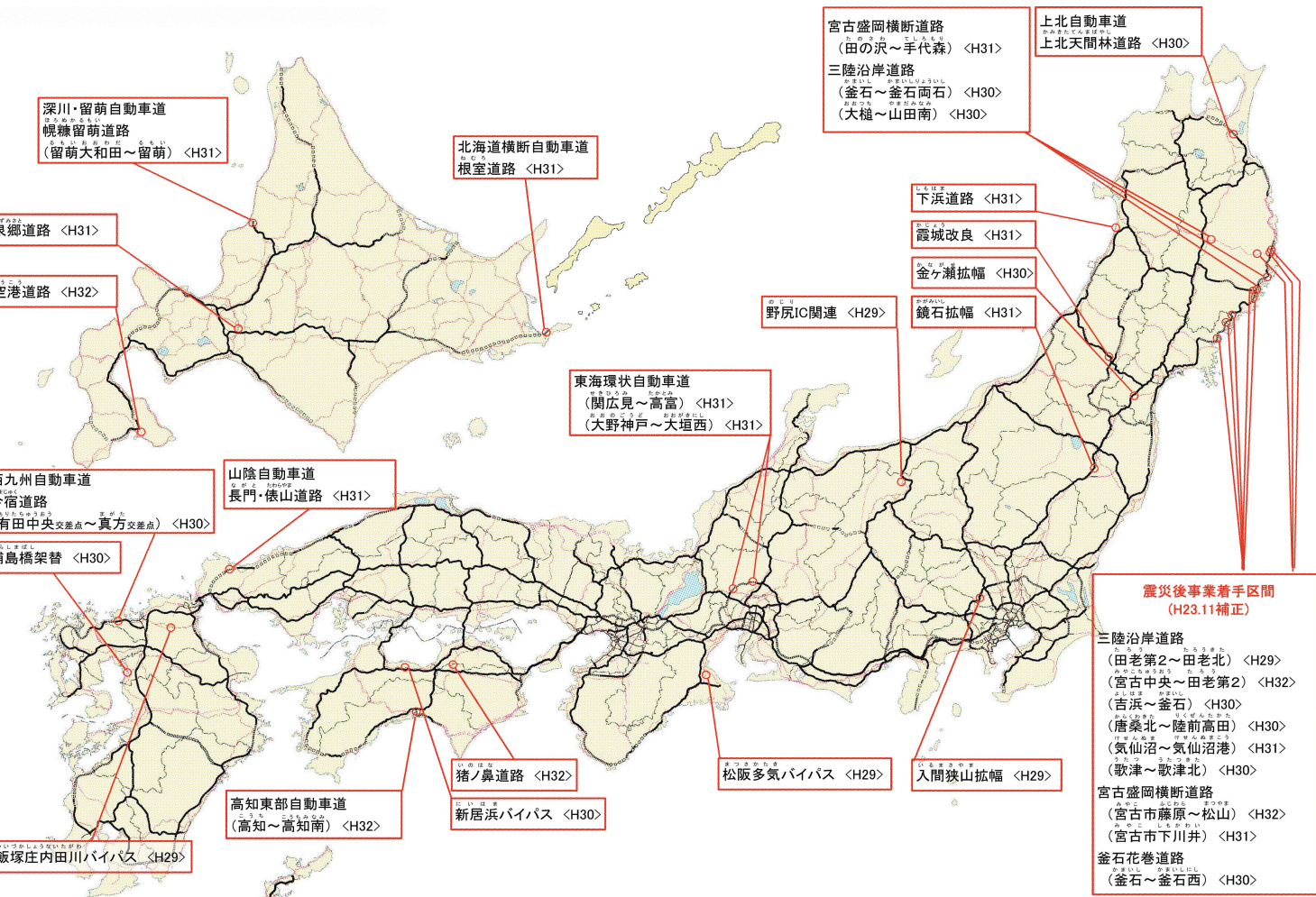
的に高める効果も期待される。さらに周辺の「道の駅」と連携し、地域の歴史や文化に触れる機会を提供すること等により、観光資源の価値・魅力をより向上させることも可能となる。インバウンド観光の促進は、力強い

タイムや電話通訳等で英語対応が可能）までにとどまっているのが現状である。今後は認定される「道の駅」の増加はもちろん、質的にも最高位のカテゴリー3（全国レベルの観光案内を提供、英語のスタッフが常駐かつ英語

を訪れ、宿泊予約や観光施設の手配等、旅のコーディネートを手スツップで入手する。「道の駅」は、近隣の観光資源のほか地域全体の案内機能を持つことで、より広域的な周遊観光ルートを形成し、観光資源の魅力を相乗

新たな開通見通しの公表区間

『平成27年度予算を踏まえた道路事業の見通しについて』各地方整備局等より公表(平成27年5月15日)



ました。選ばれなかったけれど、時代を感じるフレーズや人生という道に例えたものも。「標語として仕上げてたりまとめたり」というテクニクがあれば、かなりの数が浮上し、接戦になったかも(惜しい!)。い

かんせん、5,300もの人生ドラマを楽しませて頂きました。作った方もこれから目にする方も、改めて「道を見つめる機会になつてくれたら嬉しいですね。《やすみ委員》道を中心にした人と人との出会いや触

れ合いへの感謝を表した作品が多かったですね。みなさんの日頃の体験を生かした内容なのではとお察しします。

全国各地の道の様子が、寄せて頂いた標語の中にあふれていました。来年のご応募も楽しみにしています。《吉岡委員》小、中、一般という年齢枠を意識してみると、道路に対するとらえ方、道路に対する文化が育つ、道路と交通の文化が育つのも楽しみです。